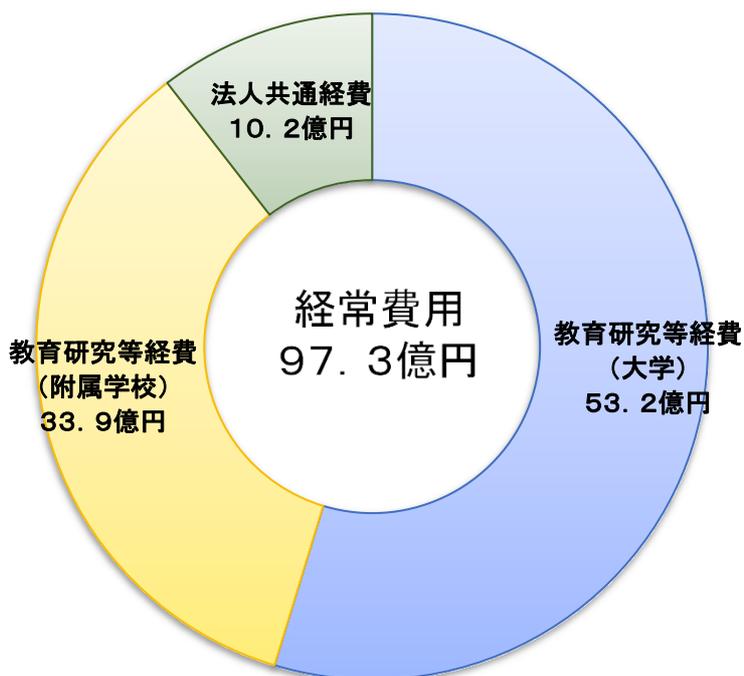
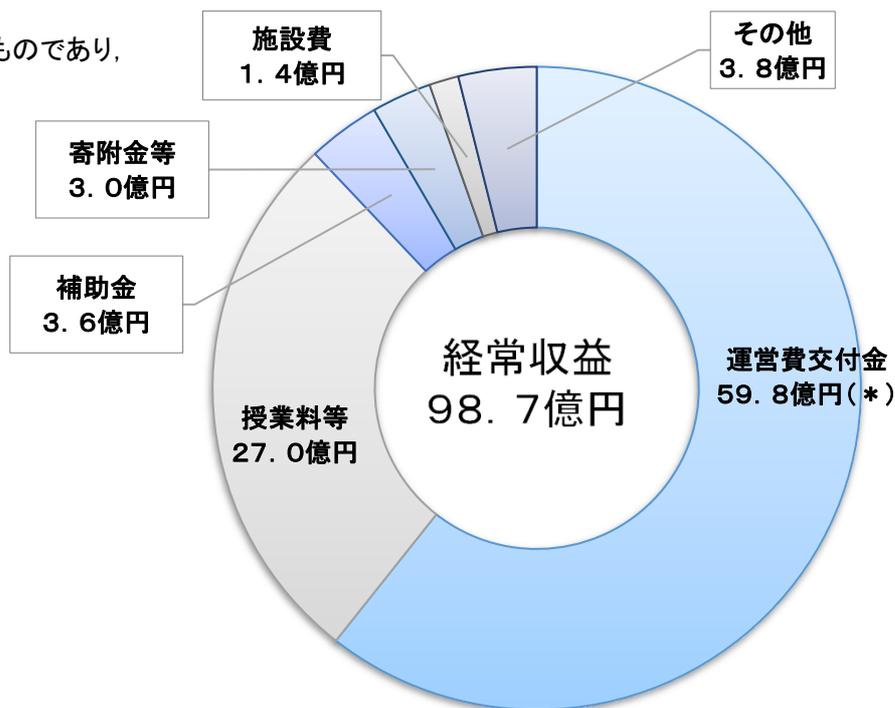


こうなってまっせ大教大

Q. 大阪教育大学の収益・費用はなんぼ？

令和2事業年度においては運営費交付金（*）及び授業料等の収益が98.7億円あり、それらの収益は本学の教育・研究・社会貢献等さまざまな活動において有効に活用しています。

（*）運営費交付金とは
大学の業務運営のため国から交付されるものであり、国民の税金によって賄われています。



1万円札で積み重ねた場合、
約97～98mです。
およそ30階建ての建物ですね。

ちなみに柏原キャンパスの
標高は約127mです。



やまお

Q. 学生一人あたりの教育経費はなんぼ？



教育経費（人件費・減価償却費含）	46億7,405万円
学生数（学部・大学院・専攻科）	4,349人
学生一人あたり	107万4,743円

学生一人あたりの経費は
年間 107万円を越えます。
月額約 9万円です。

〔教育経費の内容〕

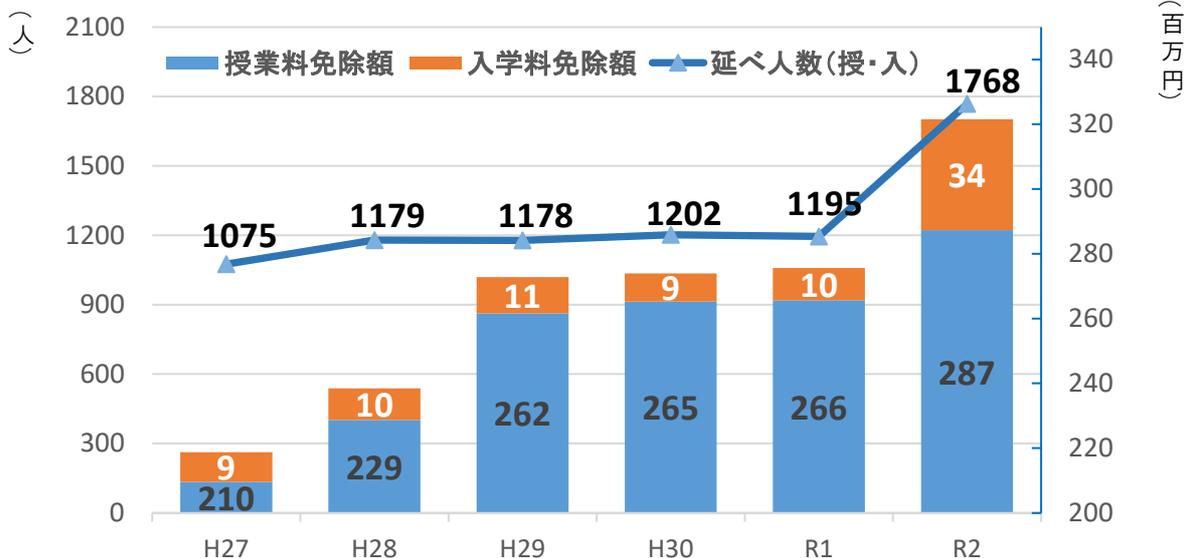
内容	金額
パソコン・講義室設備費など	1億3,076万円
キャンパス清掃費・事務システムの開発費・構内緑地保全費など	1億1,268万円
講義室等の電気・ガス代など	5,127万円
教職員給与など	39億1,703万円
入学料・授業料免除費など	3億3,665万円
その他	1億2,566万円
計	46億7,405万円

●入学料・授業料免除実績

令和2年度より新制度「高等教育の修学支援新制度による免除」が適用されました。

また「家計急変による入学料・授業料免除」でのべ(以下同様)20名約4百万円が適用され、入学料で165名約3千4百万円、授業料で1,603名約2億8千7百万円、あわせて1,768名約3億2千万円の免除を行いました。

令和2年度は
約3.2億円
免除しました！



Q. どんなこと、してるん？

【ネーミングライツ・パートナーを募集】

ネーミングライツ制度は令和2年4月、本学の財政基盤強化のため導入したもので、趣旨に賛同いただける法人を募集しております。

令和2年度は、附属図書館本館及び天王寺分館のラーニング・コモンズ「まなびのひろば」を対象としたネーミングライツ公募手続きを経て、8月7日に東京書籍株式会社と協定を締結し「東京書籍 Edu Studio（エデュスタジオ）」と呼称することになりました。国立の教員養成大学として初のネーミングライツ事例となります。

また、GIGAスクール構想により、本学学生がデジタル教科書による指導法を習得していく必要があることから、東京書籍Edu Studio内に「デジタル教科書体験コーナー」を設置しております。



デジタル教科書体感コーナーの開設にあたり、「デジタル教科書基本操作ミニ講座」の模擬練習に取り組む学生サポーター

【クラウドファンディング取組実績】

運営費交付金の減少傾向が続く中、自己収入獲得拡大を図り、財務基盤を強化することが課題となっていることに対応する一方策として、令和元年度よりクラウドファンディングの運用を開始しました。令和2年度は、ご寄附いただいた方のご期待の応えるべく、事業を実施しました。

『教師の魅力向上プロジェクト ～教示冥利に尽きるエッセイの公開・活用～』

寄附者数：153人
寄附総額：1,735,000円（目標額100万円）

令和2年2月よりエッセイ等を募集。全国の教職等経験者から90件以上集まりました。同年6月に特設サイト「教師冥利に尽きるエッセイ」集を公開しました。



皆さんの投稿が読める
特設サイトは[こちらから](#)



更なる展開として、教師をめざしている高校生や大学生等のキャリア教育教材として活用を計画しました。

また、教員養成課程1回生必修で、教職に関する基礎的な校務の実情を学ぶ授業「教職入門」の一部のクラスにおいて、実際に教材として活用しました。

さらに、スピンオフ企画「恩師への手紙」として先生への思いをつづったエッセイも公開しています。

『ほたる池復活プロジェクト ～大阪教育大学附属平野小学校121期生の挑戦～』

寄附者数：106人
寄附総額：950,000円（目標額70万円）

池の周りの環境整備や水を循環するシステムを作るなどの活動を行い、令和2年7月9日～14日にかけて、ほたるの鑑賞会を開催しました。

鑑賞会当日は、ほたるの優しい光が招待客らを迎えました。



鑑賞会当日のほたる池(左奥)

大阪教育大学

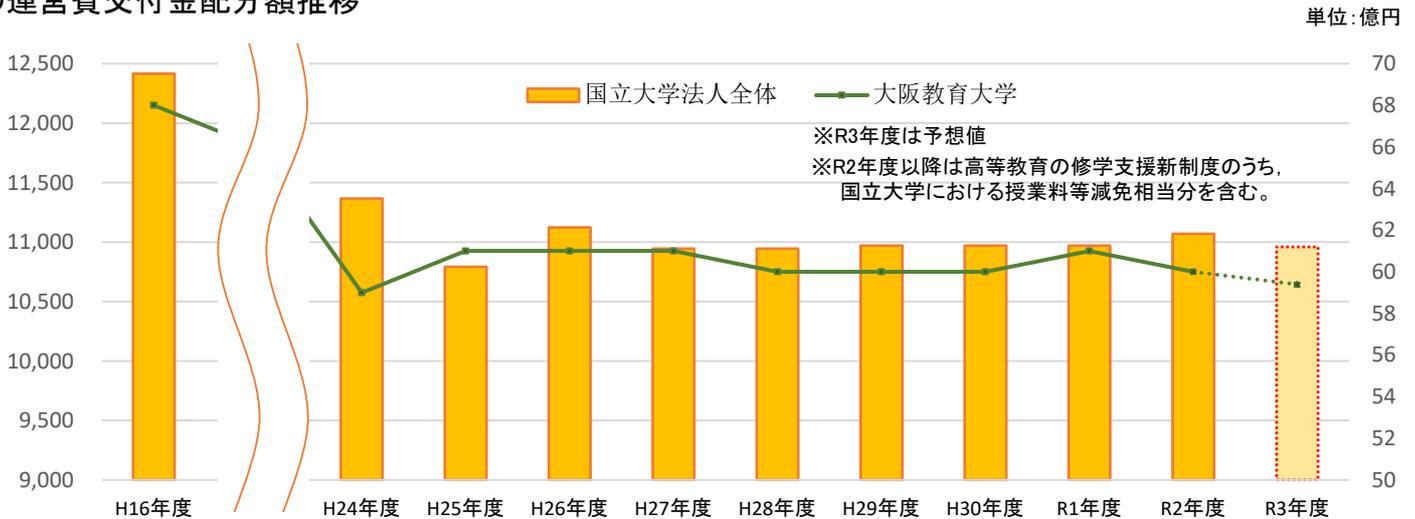
クラウドファンディング

情報は[こちら](#)



Q. 今後どうなっていくの？

○運営費交付金配分額推移



大学の業務運営の基盤財源である、国からの運営費交付金は、法人化の初年度（平成16年度）には約68億円の交付を受けておりましたが、国の厳しい財政状況により年々減少傾向にあり、令和2年度は約62億円の交付となりました。

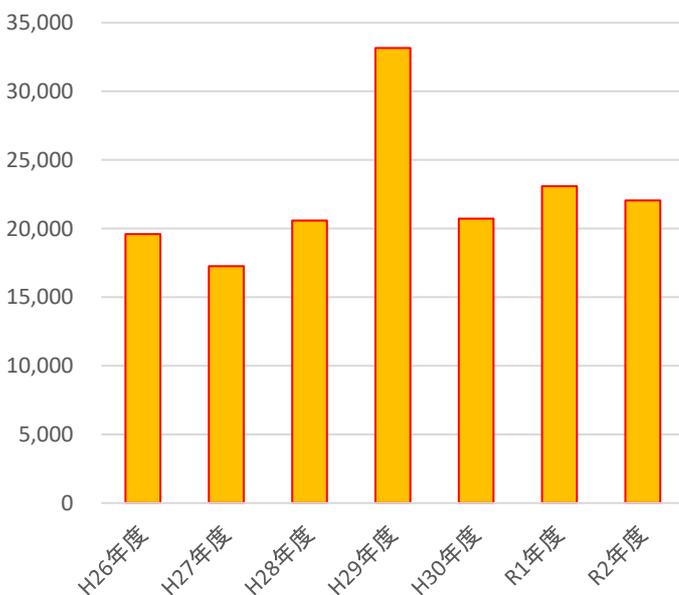
今後大学の教育・研究活動を発展させていくためには、施設活用などの自己収入の増加を図るとともに、受託研究や受託事業といった外部機関からの資金の獲得、「大阪教育大学基金」をはじめとするご支援者からの寄附が必要不可欠となっております。

大阪教育大学基金に係る情報は [こちらから](#)



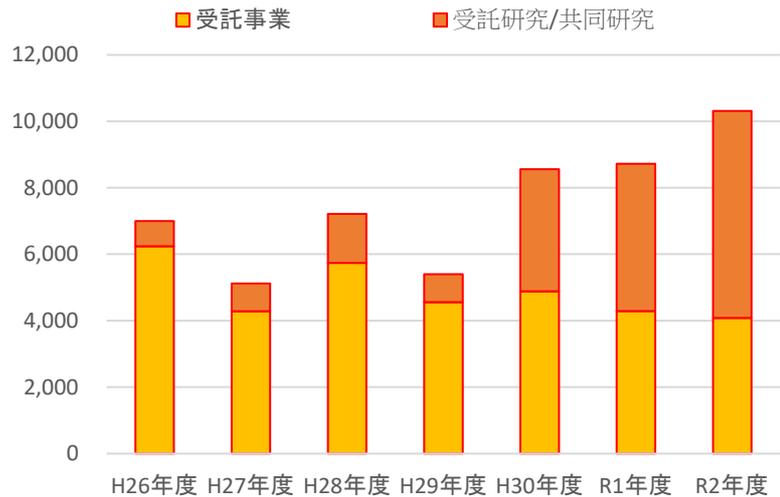
○寄附金受入額推移

単位：万円



○受託事業等獲得額推移

単位：万円



大阪教育大学
 OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

財務リーフレット2021 こうなっまっせ大教大

対象：令和2事業年度（2020年4月1日～2021年3月31日）

発行：総務部財務課

e-mail: syukeika@bur.osaka-kyoiku.ac.jp

詳細な財務情報については以下のウェブページをご覧ください。
 《大阪教育大学財務情報ウェブページ》

<https://osaka-kyoiku.ac.jp/university/zaimu/zaimujoho/>

